

ひとと寄り添うよろこび

— 幸せを分かち合える仕事選び —



社会福祉法人
至誠学舎立川

あなたの居場所が、きっとここにある。

—— 至誠学舎立川は、安心して働ける職場です。

人の心の深い部分から湧き出てくる“まことの心”を根本理念として
少年たちの保護事業からスタートした至誠学舎は、大正・昭和・平成を通じて
社会福祉のフロンランナーとして 100 有余年を歩み続けてきました。

わたしたちは、長年の豊富な経験で培った知恵と幅広い対応力を生かして
これまで数々の先駆的取り組みを実践し

現在は、乳幼児から高齢者や障害者までのソーシャルケアを統合的に行っています。

伝統と革新、そして何よりも職員一人ひとりの豊かな人間性によって

これからも社会福祉の理想を求め続けます。



100⁺years of SHISEI GAKUSHA TACHIKAWA ◎至誠学舎 立川の歩み

草創期：社会事業の創造 明治45年～昭和23年



創設者
稲永久一郎翁



製菓問屋「一心堂」から
スタート



池袋の製菓工場(大正10年頃)

稲永久一郎翁が明治45(1912)年、製菓事業を通して少年訓育を個人的に開始。
大正14年少年法制定により少年保護団体として認可され団体名を「至誠学舎」と命名。
昭和17年財団法人設立。
昭和23年少年法改正により少年保護事業は終了。

転換期：社会福祉事業の展開

昭和23年～47年

戦後の新憲法により少年保護事業を終了し、保育園・児童養護施設・老人ホームを開設して社会福祉事業を再開。
昭和27年財団法人から社会福祉法人に組織変更。



立川市に児童養護施設「至誠学園」を開設(昭和26年)

— 我が法人について —



至誠学舎立川の歴史と事業について、理事長からご紹介させていただきます。

歴史はお金や努力では手に入れることは出来ません。しかし歴史が長いだけで価値が高いともいえません。評価は、その歴史が「今」に繋がり、その組織に共有される確固たる理念と時代の必要に応える実践、それを支える柔軟な組織運営が肝です。それが永い歴史の積み上げから創りあげられているとしたら、それこそが歴史の価値だと考えます。

至誠学舎立川は明治45年、当時30歳であった稲永久一郎が浮浪の^{ぐはん}真犯少年を自宅に引き取り、家族と共に生活させ、家業の製菓事業を教えることで更生させるという社会事業に取り組んだことが事業の始まりです。

その稲永久一郎の実践を支えた信念は、人の「誠」を信じることです。ある時、行政措置を受けていた少年が久一郎の金時計を盗んで、警察に捕縛^{ほぼく}されたそうです。盗難届けが出ていなかったことを不審に思った刑事に、「子供が親の物を持って行ったといって警察に届けますか」と応じたそうです。訓育をする少年の更生を信じ、指導をする人のあるべき道を自らの行動で示したエピソードです。

戦後、財団法人から社会福祉法人として変更認可を受け、新しい法体系のもと児童・保育・高齢福祉事業に取り組みました。以後常に先駆的な地域貢献活動を実践して今に至っております。現在は障害福祉に事業の幅を広げています。

法人の事業の精神は、創設者から受け継がれた「まことの心」～まことの心の働きは人の心をうごかし天に通ず～を大きな信念とし、3事業本部制の下、統制ある分権性を以って法人の諸事業は進められています。

利用者にとっては当然のことですが、1,300人のスタッフ、地域からも『至誠学舎立川は、永い歴史があって、いい仕事をしているね』と評価されることを目標として日々努力を積み重ねています。

至誠学舎立川 理事長

橋本正明



成長期：開かれた施設へ

昭和48年～平成元年

特別養護老人ホーム、デイケアセンターの発足、新たな保育園開設および都立病院内保育室の受託経営、さらに子どものグループホームや里親制度推進など地域に開かれたコミュニティケアシフト。

充実期：福祉の新たな潮流

平成2年～11年

立川市ほか都の他自治体からも高齢者向け施設や在宅介護支援センターの経営を複数受託。立川市から保育園の受託経営。知的障害者小規模事業所の開設など幅広い福祉活動を展開。平成10年立川地区を中心とする「至誠学舎立川」と保谷地区を中心とする「至誠学舎東京」に法人を2分割し、新法人名を「至誠学舎立川」とする。

未来へ：多様化・細分化するニーズ 平成12年～

平成12年介護保険制度開始以降、ユニット型特別養護老人ホームやグループホームなど多様な高齢者施設を多数展開。また待機児童や被虐待児の増加などを背景に、新施設開設や福祉事業の拡大・充実を図る。



「至誠ホームキートス」に天皇・皇后両陛下をお迎えして



塩崎厚生労働大臣が先駆的取り組みを視察(平成27年)

成長していけるのは、この職場環境だからこそ。

— 至誠学舎立川は、長く働き続けられる職場です。

至誠学舎立川では、およそ1,300名の仲間(准職員を含む)が働いています。

職員の皆さんが長く、安心して仕事を続けられ、専門性を磨いていけるよう

法人全体で新任研修や福祉講座を主催し、キャリアアップ、キャリアパスを目指し

事業本部ごとにも指導や勉強会を行うなど、さまざまな取り組みがあります。

また、仕事上の悩みや問題は先輩や上司に気軽に相談して一緒に解決し、共に成長できる環境づくりやワークファミリーバランスを大切に、家庭や子育てと仕事を両立させながら、心おきなく働き続けられる職場づくりにも努めています。

法人全体での取り組み

新規採用者研修

毎年3月に新規採用となる職員が一堂に会し、事業本部の垣根を越えて研修を行います。事業本部混成でグループを作り、法人の歴史と理念、立川市錦町にある児童・保育・高齢・法人事務局などの施設見学、コミュニケーション、グループディスカッションなどを通して法人の理念である「まことの心」を習得します。

至誠ソーシャルワーク研究会（獅子の会）

社会福祉士を中心に法人内に広く呼びかけて年間2回実施している職員の主体的な研究会です。外部講師をお招きしての講演会や、事例検討会、ディスカッション、新規資格取得者のお祝い、親睦会も行います。領域を超えての事例検討やディスカッションはソーシャルワークの学びの機会となっています。

至誠福祉セミナー

法人施設の実践発表会で、地域の関係機関、福祉施設にも開放しています。各事業本部の年間を通して実施した、QC活動や研究活動の実践発表を行い、各施設の新しい取り組みの学びの機会となっています。外部から福祉の専門講師をお招きして、講評をいただいております。

世代間交流

高齢者施設と同じ敷地内にある施設では、日常的に子どもと高齢者が交流しています。児童養護や保育園の子どもたちが折に触れてお年寄りを訪ねたり、招待したりし、子どもから高齢者まで、0歳から看取りまでを対象としている私たちの法人ならではの特徴です。

至誠実践福祉総合研究所

各事業本部にブランチを置き、法人として実践研究を推進しています。紀要を発行しています。



福祉セミナーにて



辞令交付式



新規採用職員

児童

さまざまな事情で家族と離れて暮らす子どもたちのための『家』（児童養護施設）と障害のある方々の『職場』（就労継続支援 B 型事業）、『ショートステイホーム』（短期入所）があります。生活や活動のモットーは「明るく 直く 健やかに」です。



毎年恒例「子どもたちの健やかな成長を祝う」ガーデンパーティー

一人ひとりの成長や自立の力をつけていく豊かな環境づくりを心がけ、心の傷つきや家族間の葛藤など専門的な支援を必要とするときは、心理職員や精神科医、ソーシャルワーカーなどがケアワーカーと協力して取り組んでいます。



先輩が寄り添うメンター制度



園内外で実施される研修に積極的に参加し学んでいく

保育

生後 8 週から就学までの子ども達の保育・教育を行っています。

「生き生きとした子どもをめざして」を保育目標に、子ども達一人ひとりの健やかな成長と「命を育む」



11 園が集まって行う全体研修

自立に向けた温かなサポートに努めています。

また時代のニーズに応え、自治体と協力し延長保育、障害児保育、一時保育、子育て支援事業等多様な保育サービスに積極的に取り組んでいます。



実践に向けた新人研修

高齢

高齢事業本部至誠ホームは、至誠学舎立川の高齢者福祉を担当する事業本部です。1951 年に養護老人ホームを開設以降、立川の地において半世紀以上にわたり様々なニーズに応える事業を展開しています。現在では、立川市・国分寺市・調布市で大小さまざまな 40 以上のサービスを提供しています。

2017 年には特養・ショート・障害者ショートの総定員 175 名、デイサービス 37 名の介護複合型施設「至誠ホームアウリンコ」を開設、2019 年には立川市初の看護小規模多機能ホームを併設した「至誠ホームオンニ（特養）」を開設しました。至誠ホームはそれぞれの地域で福祉・介護の拠点として、高齢者とそのご家族を支える総合的な福祉サービスの提供に邁進してまいります。



園庭でのお花見

ここで、一緒に育ち合いませんか。

— 至誠学園立川は、



八木 絢子 保育士
児童養護施設のケアワーカーとして、グループホームで生活している子どもたちの成長を支援。

● 子どもと職場に感謝する日々 ●

＜ケアワーカー＞

この仕事は、一人の人間として子どもと真剣に向き合う中で、喜怒哀楽を共にしながら一緒に成長することが出来る仕事です。子どもは、日常生活の中で職員に求めていることや感情を不器用ながらも必死に伝えようとしてくれます。多種多様で深い思いをいかに受けとめて支援に繋げていくかを考えることはとても難しいのですが、私はそれがこの仕事の一番のやりがいだと感じています。沢山のことを教えてくれる子どもと、子どもだけではなく職員のことも大切にしてくれるこの職場に感謝の気持ちでいっぱいの毎日です。

2016年入職(至誠学園)



齋藤 新一 社会福祉士
至誠学園から至誠大空の家の立上げスタッフとして異動。児童養護施設の家庭支援専門相談員 (FSW) として児童相談所等と連携し、家族再統合に向けて子どもや家族を支援。

● 成長できる職場 ●

＜ファミリーソーシャルワーカー＞

現在はファミリーソーシャルワーカーとして、子どもや保護者と“家族としてのこれから”を考えていくお手伝いをしています。また、主任として、子どもたちの生活を支援する職員が働きやすい職場となることを大事に働いています。至誠学園で居室担当、居室のリーダー、グループホームの開設、ファミリーソーシャルワーカー、そして至誠大空の家への異動と、常に新たな機会が与えられ、その都度学ぶことや人との出会いも多く、成長させてもらっていると感じています。

2003年入職(至誠大空の家)



福田 奈那 介護福祉士／学校認定音楽療法士
現在は障害者就労継続支援 B 型事業所の職業指導員として、日々利用者支援に従事。

● そのひとらしく働ける場所 ●

＜職業指導員＞

ワークセンターまことくらぶでは、日常の業務や年間行事を通して、児童養護施設や保育園の子ども達、また高齢事業本部の施設を利用される皆さんと接する機会が数多くあります。私はこうした素晴らしい環境にあるこの事業所で、個性あふれる会員の皆さんやボランティアの方スタッフとともにモットーである「夢をかなえよう」のもと、一人ひとりがその人らしく働くこと事が出来る場所になるよう日々業務に励んでいます。

2018 年度入職 (ワークセンターまことくらぶ)



土肥 理紗子 保育士
実践女子大学卒業後、新設園立ち上げスタッフの保育士として 0 歳児クラスを担当

● 子ども達と成長を共に ●

＜保育士＞

平成30年度に開設した至誠ひの宿保育園で0歳児9名の担任をしています。開設初年度からの新卒採用で右も左もわからない状況の中、不安だらけのスタートでしたが、クラスの室長・担任をはじめ、先輩職員からの指導のおかげで、今はとても充実して楽しい毎日です。0歳児の子ども達は毎日できることが増えていくので、成長著しいこの時期を一緒に過ごせることをとても嬉しく思います。最近ではお友達同士での微笑ましい関わりもみられるようになり、日々癒されています。この一年間で子ども達との信頼関係を築くことができ、毎日子ども達と一緒に過ごせることに幸せを感じています。これからも子ども達に寄り添い、一緒に成長していける保育士でありたいと思います。 2018年入職(至誠ひの宿保育園)

あなたの情熱と感性を大切にします。



小野 美咲 社会福祉士
現在は特別養護老人ホームのソーシャルワーカーとして、入居相談や退居手続き等に従事。

● 長く続けられる職場 ●

<ソーシャルワーカー>

2年間の介護職を経て、3年目から相談員として働いています。初めは右も左も分からず、やっていく事が出来るのかと不安を抱えていました。そんな不安も先輩職員の指導や上司からのサポートにより相談員としての力が身につくことで自信に変える事が出来ました。新人職員だけではなく、どんな時も先輩職員から後輩職員へのサポートが受けられ、常に職員としてスキルアップしていける職場です。
2014年入職（至誠ホームアウリンコ）



山下 寛史 介護福祉士
現在は特別養護老人ホームのケアワーカーとして日々、入居者の生活全般を支援。

● 人の役に立てる喜び ●

<ケアワーカー>

現在ケアワーカーとして勤務しています。高齢者やご家族といった「人」を相手にすることの難しさを感じながらも、その中でお互いの信頼関係を築けた時に大きなやりがいを感じます。「あなたと会うと安心するわ」「最近会えなくて寂しかった」「実は相談があって」などと声を掛けると、自分が人の役に立っていることを実感し喜びが湧いてきます。人と人をつながりを通じて、自分自身も成長できる素晴らしい仕事だと思っています。
2017年入職（至誠ホームミンナ特養）



吉崎 真美 社会福祉士/介護福祉士/介護支援専門員
現在は特別養護老人ホームのケアマネジャーとして、利用者やご家族の要望を反映したケアプランを作成。

● 経験を活かし成長できる職場 ●

<ケアマネジャー>

介護職、相談員を経験し、現在ケアマネジャーとして働いています。介護の経験や相談員で学んだことを活かし、利用者が笑顔で安心してホームで生活できるようケアプランを作成しています。様々な職種を経験し、今まで関わってきた利用者の笑顔が私の励みになっています。また、至誠ホームは経験やスキルを活かし、キャリアアップできる職場です。育児休業から復帰した際も、温かく迎えてくれ、周囲の理解とサポートを得ながら安心して働き続けることが出来ています。
2010年入職（至誠ホームアウリンコ）



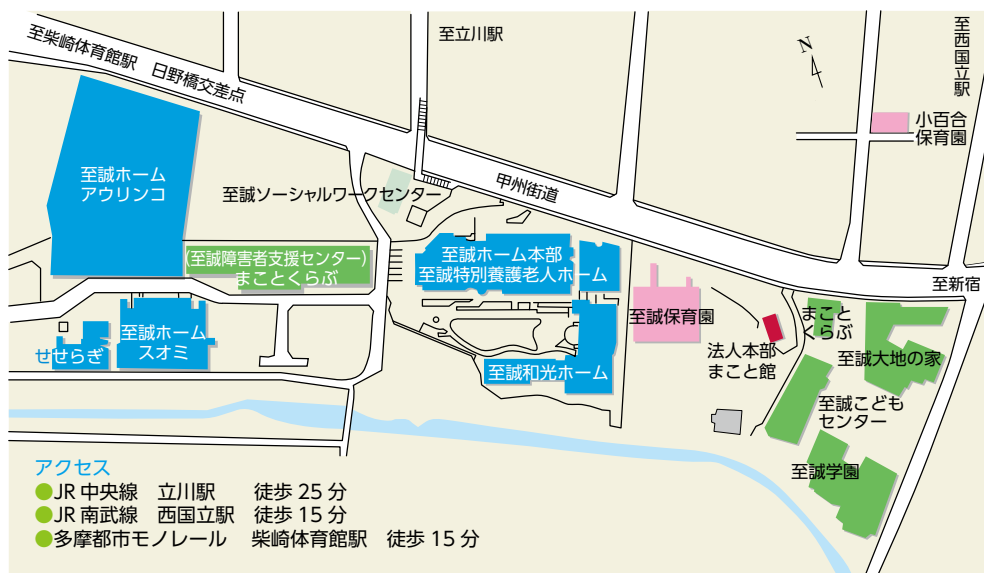
島津 菜月 保育士
働きながら保育士・モンテッソーリ教師国際ディプロマを取得し、3・4・5歳児異年齢混合クラスを担当。

● 幸せを感じる仕事 ●

<保育士>

「子どもが大好き！」という理由で保育士に憧れ、働き始めて4年が経ちました。子ども達との日々により1日たりとも「昨日と同じ」は無いため、毎日が充実しています。今まで出来なかったことが今日できた！お友だちと喧嘩して大泣き…と思ったらすぐに仲直りして大笑い！そんな子ども達の豊かな表情と感性、そして素直な優しさに幸せを感じます。責任の大きい大変な仕事ではありますが、信頼できる上司の存在はもちろん、研修や勉強のサポートも手厚いため、自信をもって働くことができています。
2015年入職（代々木至誠こども園）

<至誠学舎立川 法人本部と周辺施設>



■ 児童事業本部

至誠学園 至誠大地の家 至誠大空の家 ワークセンターまことくらぶ まことホームアウリンコプラス

■ 保育事業本部

至誠保育園 至誠第二保育園 小百合保育園 諏訪の森保育園 万願寺保育園 至誠あずま保育園
しせい太陽の子保育園 成育しせい保育園 成育しせい保育園梅丘分園 至誠いしだ保育園
代々木至誠こども園 至誠ひの宿保育園

■ 高齢事業本部

至誠和光ホーム 至誠特別養護老人ホーム 至誠ソーシャルワークセンター 至誠コミケアセンター
至誠ホームアウリンコ 至誠ホームキートス 至誠ホームスオミ 至誠ホームオンニ 至誠デイケアセンター
立川市柏地域福祉サービスセンター 至誠ケアセンターもとまち 至誠ホームミンナ
至誠ホーム調布若葉ケアセンター 至誠ホーム調布柴崎ケアセンター 高齢者住宅せせらぎ 和光診療所

職員採用についての詳細は、各事業本部にお問い合わせください。

児童養護・障害福祉 (児童事業本部) / 採用担当連絡先

社会福祉法人至誠学舎立川 児童事業本部

〒190-0022 東京都立川市錦町 6-26-15 Tel: 042-524-2601 Fax: 042-524-2367

Mail: recruit@shiseigakuen.org Web: <http://www.shiseigakuen.org>



保育所 (保育事業本部) / 採用担当連絡先

社会福祉法人至誠学舎立川 保育事業本部

〒190-0022 東京都立川市錦町 6-26-13 Tel: 042-524-1500 Fax: 042-524-1574

Mail: yoyogi@shisei-hoiku.jp Web: <http://www.shisei-hoiku.jp>



高齢者福祉 (高齢事業本部至誠ホーム) / 採用担当連絡先

社会福祉法人至誠学舎立川 至誠ホーム 統括事務局

〒190-0022 東京都立川市錦町 6-28-15 Tel: 042-527-0031 Fax: 042-527-2646

Mail: recruit@shisei.or.jp Web: <http://www.shisei.or.jp>



社会福祉法人 至誠学舎立川

〒190-0022 東京都立川市錦町 6-28-15 Tel: 042-527-7734 (代表) Fax: 042-527-7838

Mail: honbu@gakusha.org Web: <http://www.gakusha.org>

